

## 大会メッセージ

2011年、平成23年、大阪府岸和田市で、全国コットンサミット第1回大会が開催され、14年の時を経て、本日ここに第10回記念大会を盛大に開催することができました。

全国コットンサミットの理念、目標は、  
一つ、全国に綿花栽培を普及し、ものづくり再考、生きがいづくりを行います  
一つ、全国の栽培者をネットワーク化し、情報共有と新たな価値ムーブメントを引き起こします  
一つ、地域発信の機会を尊重し、地域を元気にします  
一つ、エシカル・コンシューマリズムを満たすものづくりを目指します  
一つ、農業支援と耕作放棄地の解消に役立ちます  
一つ、塩害に強い綿花の栽培を通して、東北など被災地支援を行います  
と記されています。

※エシカルコンシューマーとは、「倫理的消費者」とも呼ばれ、人や社会、環境に配慮した商品やサービスを選ぶ消費者のことです。単に価格や機能だけでなく、「どのように作られているか」という背景を考慮し、商品が作られる過程で人権や環境への悪影響がないかを考えて消費活動を行います。

また、綿花栽培をとおして解決を目指す社会的課題への取り組みとして、  
一つ、国内で綿花栽培を行い、糸作りへの工程を「見える化」することで、繊維関係者や専門家、市民、子供たちに素材知識について実学を通じて学べる場づくりを行います  
一つ、国内で綿花栽培、綿の収穫、紡糸といった原料生産を行うことで、「綿花高騰による海外からの調達困難について一部解消」、「安心安全な原料づくりとプレミアム性の実現」を行います。  
一つ、それによって、エシカル・コンシューマーへの要望に応えます  
一つ、農地に近い放棄地を管理することで、農業への被害を軽減します  
一つ、高齢者をはじめとする様々な年代が持つ土へのあこがれ、植物栽培などの生きがいづくりの場を提供します  
の5項目を掲げています。

本日ここにご参集くださいました皆様、ご参加くださいました皆様とともに、全国コットンサミットのこれまでの素晴らしい歩みを踏まえ、第10回記念大会を契機に、全国コットンサミットが掲げる理念を継承し、さらなる発展を指向し、社会的課題の解決に向けて積極的に取り組んで行く決意を確認し、大会メッセージとさせていただきます。

SDGs 未来を担うこどもたちへ、人生百年時代のその先を見据えて

このたびの天理大会が、みなさまお一人おひとりのいのちと未来に、綿を通して喜びのたねをまくことができましたなら幸です。

本日は誠にありがとうございました。

全国コットンサミット天理実行委員会  
実行委員長 梅田正之